

(1) 保守点検

取扱説明書をよく読んで、日常点検と定期点検を行う。

ア エンジン

エアクリナーが詰まっていると、空気不足となり、燃費が悪くなるので、定期的に清掃・交換する。

また、オイルの量の過不足、寿命以上の長期使用や粘度が高すぎる場合も燃費が悪くなるので、オイルとオイルフィルターは定期的に交換する。

イ 動力伝達部

潤滑油の管理が不適切だと、駆動に要する動力が増大したり、クラッチが滑ったり、ブレーキが効いたままで作業したりすることがあり、燃料消費量や消費電力の増大につながるので、適正に管理する。

また、駆動ベルト及びチェーンの張りが適正でないと、燃料消費量や消費電力の増大につながるので、張りを適正に調整する。

ウ 走行部

タイヤの空気圧が低すぎると走行抵抗が増大し、高すぎると車輪の滑りが大きくなり、ともに燃費が悪くなるので、空気圧を適正にする。

また、クローラの張りが強すぎたり、走行部に付着した土が固まると走行抵抗が増大し、燃費が悪くなるので、張りを適正に調整し、付着した土は固まる前に落とす。

エ 作用部

トラクター作業機の土壌作用部が摩耗すると、作業精度が低下するだけでなく、切削抵抗やけん引抵抗が増大し、燃費悪化の原因となるので、耕耘ロータリーのため、プラウの刃板（シェア）などが摩耗した場合は、交換するか、研磨に対応しているものは研磨する。